

牛田古墳群の発掘調査

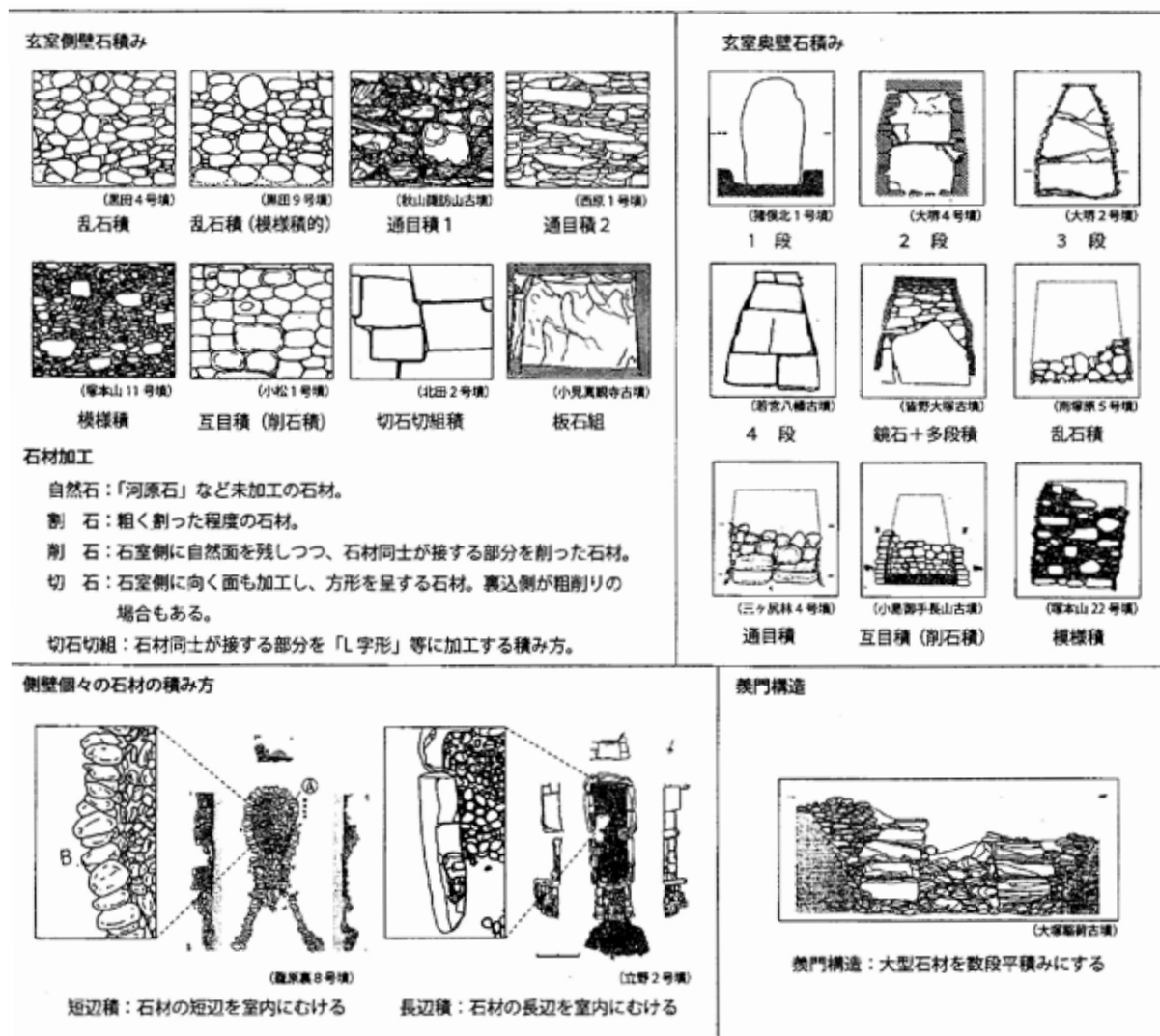
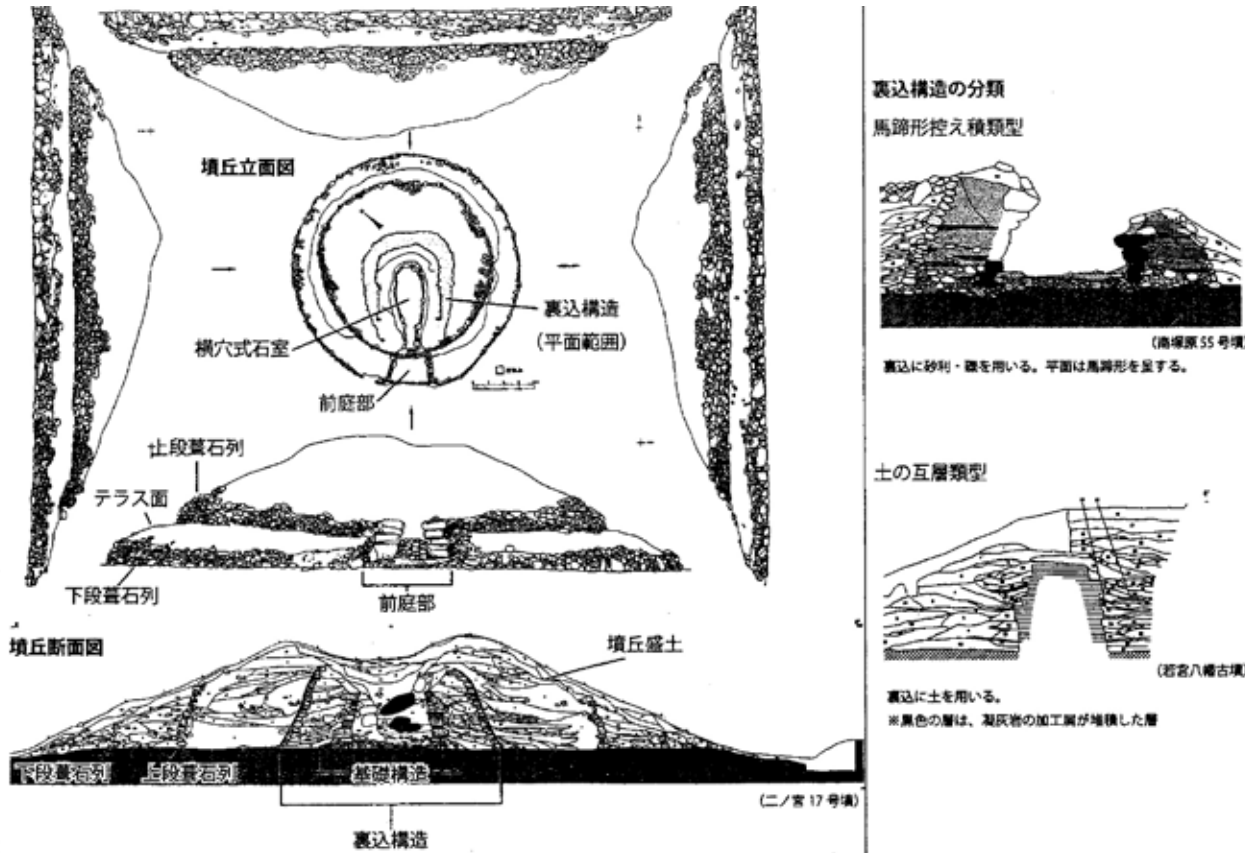
日時：令和2年10月25日（日） 主催：藤岡市教育委員会

かわよけやしきうらいせき

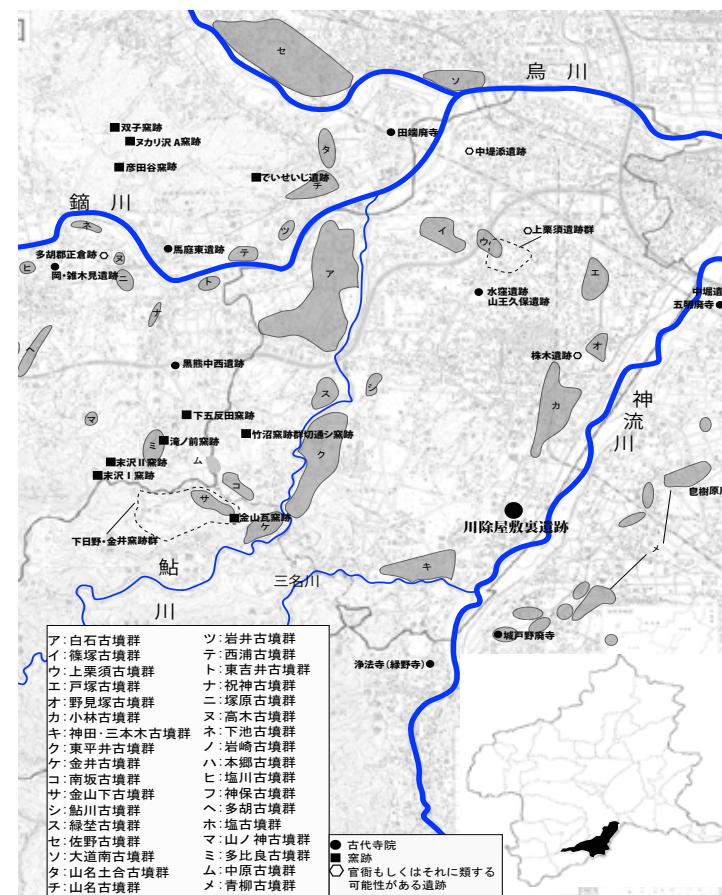
川除屋敷裏遺跡－牛田古墳群－の概要

川除屋敷裏遺跡の発掘調査は、群馬県営牛田川除地区基盤整備事業に伴い、平成30年度から藤岡市教育委員会が実施しています。遺跡は群馬県と埼玉県の県境を流れる神流川左岸の低地に位置していますが、これまでの調査では、藤岡市で初めて発見された8世紀前半創建の牛田廃寺跡や古代の道路状遺構、200軒を超える竪穴住居跡などがみつかっています。7世紀から8世紀にかけての牛田・川除地区は、藤岡市の中でも重要な地域であったことがわかってきました。

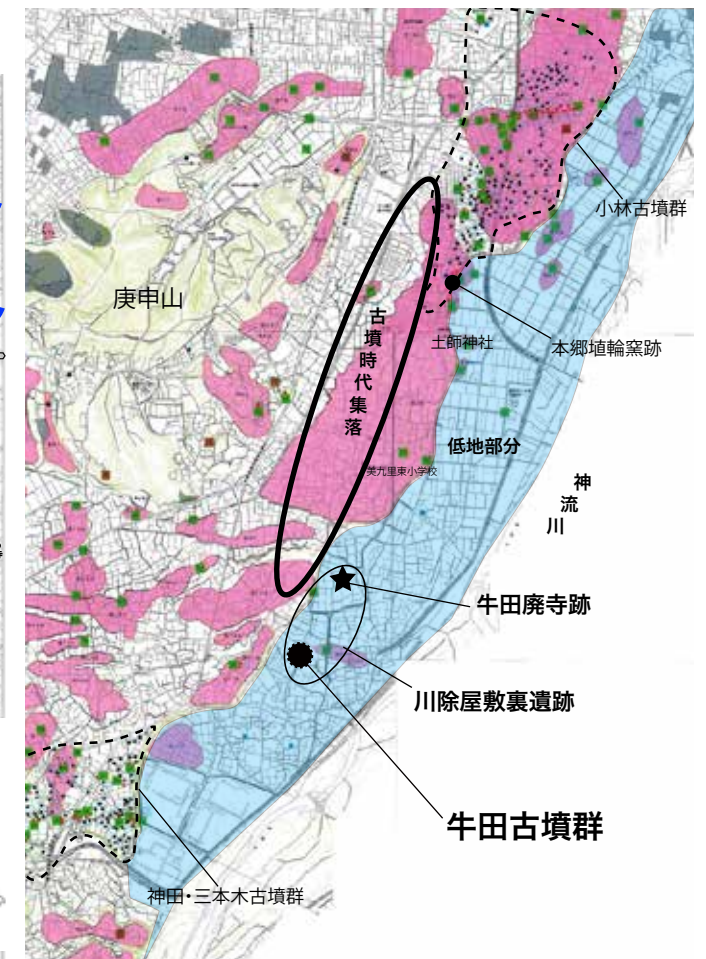
牛田古墳群は、神流川左岸低地の藤岡台地際に造られた古墳群で4基の古墳が確認されています。藤岡市には約1,500基の古墳が存在しますが、ほとんどが藤岡台地上に造られており、牛田古墳群のように河川沿いの低地に造られることはあまりありません。古墳には埴輪は全く伴わず、古墳時代終末期（7世紀）に造られた古墳です。すぐ近くで見つかった牛田廃寺跡の発願者と何らかの関わりがある可能性が非常に高いと考えられます。



古墳(円墳)の構造(上)と石室石積みの種類(下)(青木 2015 より引用)



藤岡市と周辺の古墳群と寺院



川除屋敷裏遺跡周辺の遺跡と牛田古墳群の位置

牛田古墳群は4基の円墳が確認されている小規模な古墳群です。1号古墳は直径約17m、2～4号古墳は約12mで1号古墳が最も大きく、この中では盟主的な人物の古墳であったと思われます。

天井石は無く、墳丘も削平されていましたが、遺体を埋葬した石室は比較的良く残存しており、大きい石と小さい石を巧みに組み合わせ飛び石状の壁面を構築する「模様積石室」であることがわかりました。「模様積石室」は、日本では藤岡市とその周辺の地域でしか見られません。

4基とも埴輪を伴わず、古墳時代終末期（7世紀）に造営された古墳です。石室内は盗掘を受けていましたが、石室外から鉄製直刀や耳環（耳飾り）が発見されており、盗掘者が廃棄していったものと思われます。



2号古墳の模様積石室



1号古墳 垂直写真



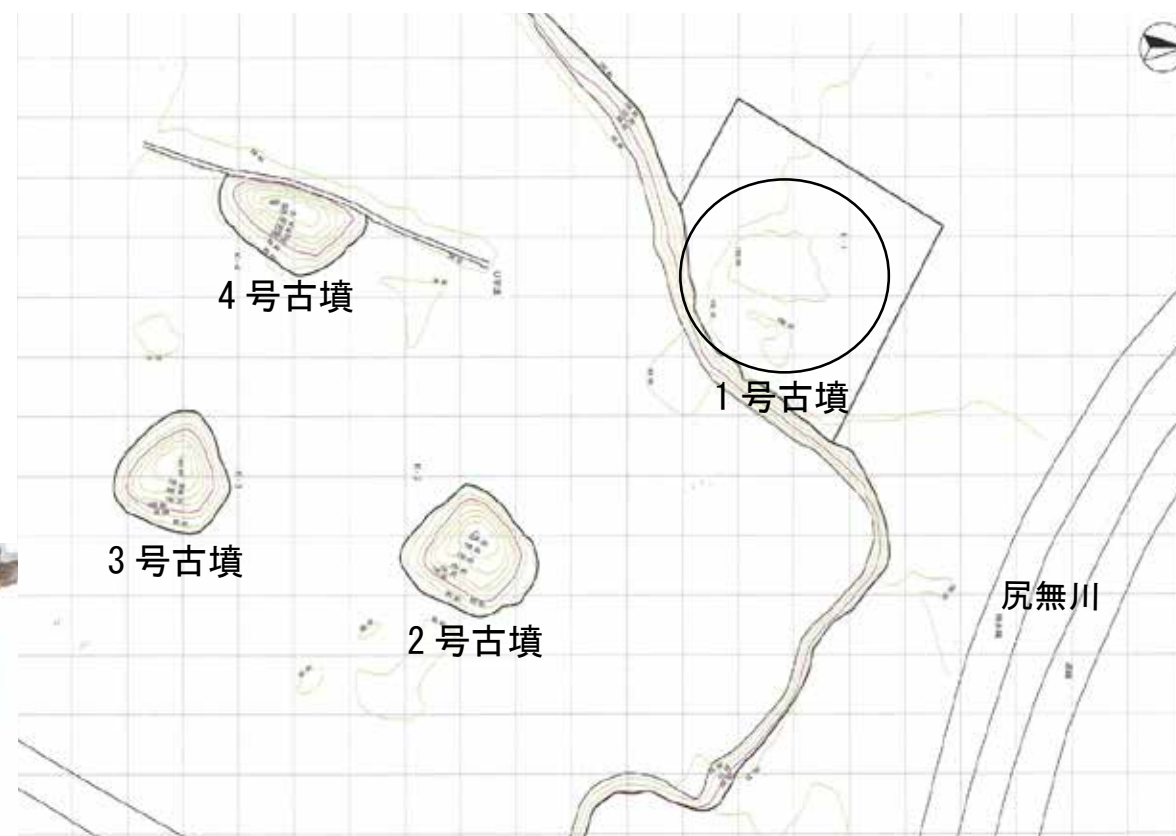
牛田古墳群 空撮（南から撮影）



2号古墳 模様積石室側壁拡大



4号古墳の模様積石室



牛田古墳群の現況測量図



2号古墳 垂直写真



4号古墳 模様積石室の側壁